



Roborock Q7 Max

ロボット掃除機 取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。

目次

- 03 安全上のご注意
- 05 製品概要
- 06 使用前の準備
- 09 操作方法
- 11 お手入れ
- 13 バッテリーの取り外し
- 14 基本仕様
- 15 よくあるご質問
- 16 保証情報
- 17 保証書
- 18 保証規定

安全上のご注意

本書には製品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。本書はすぐに参照できるようお手元に保管してください。

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容
⚠ 注意	「軽傷を負う、または物的損害を負う可能性がある」内容

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

⊘ してはいけない内容	❗ しなければならない内容
-------------	---------------

■ 本体

⚠ 警告

- ⊘ 周囲温度が40°C以上または4°C未満の環境や、トイレ、風呂場などの水回りで使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ⊘ 乳幼児や子供を含む、自分で意思表示できない人や、自分で操作できない人には、使用させたり遊ばせたりしないでください。(けがの原因)
- ⊘ 水洗い・水拭き可能と記載された箇所を除き、お手入れに濡れた布や液体を使用しないでください。(感電・故障の原因)
- ⊘ 本製品をろうそく、線香、たばこの火、ストーブなど火気のある場所では使用しないでください。(火災の原因)
- ❗ 灯油、アルコール、シンナー、コピー紙のトナーなど引火性のあるものは床から片付けてください。(火災の原因)
- ❗ 本製品を掃除またはメンテナンス(ダストボックスの清掃を除く)する前に、電源を切ってプラグをコンセントから抜いてください。(感電・火災の原因)

⚠ 注意

- ⊘ 本製品は、室内床掃除用に設計されています。屋外や、床ではない家具などの表面、商業または産業環境では使用しないでください。(破損の原因)
- ⊘ 落下防止柵のない、ロフトや家具の上などの高い場所で本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⊘ 毛足の長いカーペットでは本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⊘ 産業廃棄物、ガラス、釘などの硬いものや尖ったものの掃除に使用しないでください。(破損の原因)
- ⊘ 本体に乗ったり、重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(破損・傷つきの原因)
- ⊘ 衣服や、髪、指などの身体部位を開口部および可動部に近づけないようにしてください。(けがの原因)
- ❗ 本製品の使用前に、他の製品のコードが掃除機によって引っ張られないよう片づけてください。(破損・傷つきの原因)

安全上のご注意

- ❗ 本製品の動作の妨げになったり、本製品が周囲の物を破損したりしないよう、掃除の前に、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものや、花瓶などの壊れやすいものを床から片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本体を移動させるときは、本体を両手でしっかり持って運んでください。本体上部のレーザースキャナーキャップをつまんで持ち上げないでください。(落下によるけが・床面の傷つき・本体の破損の原因)

■ バッテリーと充電

⚠ 警告

- ⊗ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⊗ 充電ドックを濡れた布で拭いたり濡れた手で触れたりしないでください。(感電・故障の原因)
- ❗ 充電には、付属の充電ドック(型番: CDZ11RRまたはCDZ12RR)、Roborock自動ゴミ収集ドック(AED03LRRまたはAED04LRR)等の指定の充電ドックのみを使用してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 電源コードが損傷した場合は、直ちに使用を止め、サポートセンターまでご連絡ください。(感電・発火の原因)
- ❗ バッテリーを取り外すときは、本体を充電ドックから取り外し、電源をオフにしてください。バッテリーの取り出し手順は、P.13をご覧ください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)

■ 内蔵無線LAN使用上のご注意

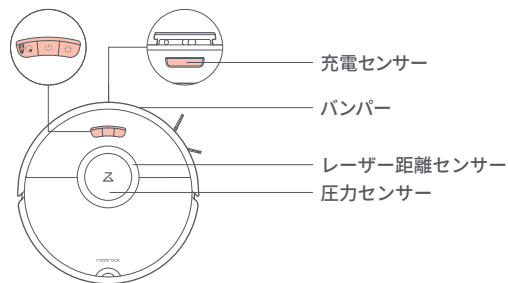
- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、本製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
 - a. 産業・科学・医療用機器(電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど)
 - b. 免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
 - c. 免許を要する無線局(工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局)以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

■ レーザーの安全性に関する情報

本製品のレーザー距離測定センサーは、IEC 60825-1:2014のクラス 1レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射は行いません。

A 製品概要

A1 本体（表面）



電源/掃除

- 長押しすると、本体のオン/オフが切り替わります
- 押しすと、掃除を開始します

電源ランプ

- 白：バッテリー残量が20%以上
- 赤：バッテリー残量が20%未満
- 白の点滅：充電中または起動中
- 赤色に素早く点滅：エラー



スポット掃除/チャイルドロック

- 押しすと、スポット掃除を開始します
- 長押し（3秒）すると、チャイルドロックのオン/オフが切り替わります

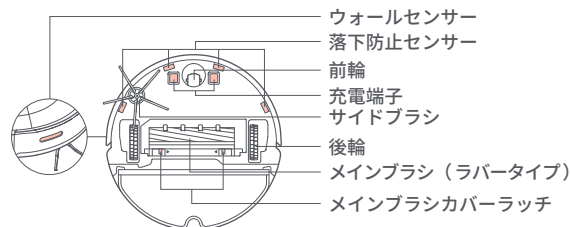


充電ドック

- 押しすと、充電ドックに戻ります

注意：掃除中にいずれかのボタンを押すと、掃除が一時停止します。

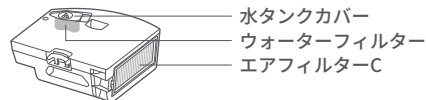
A2 本体（裏面及びセンサー）



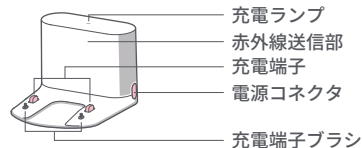
A3 本体（上部カバーが開いた状態）



A4 ダストボックス・水タンク両用ユニット



A5 充電ドック



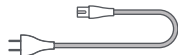
A6 モップクロスマウント



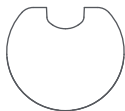
A7 モップクロス



A8 電源ケーブル



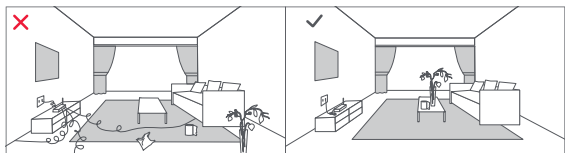
A9 防湿マット



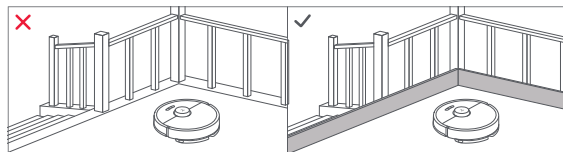
B 使用前の準備

⚠️ 重要

1. 本製品を使用する前に、貴重品、割れやすい物、ケーブルなどの掃除機の動作を妨げるもの、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものを床から片づけてください。



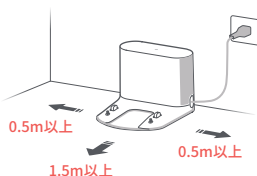
2. 落下防止センサーが搭載されていますが、万が一センサーが反応しなかった場合に怪我や本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください。



注意：初めて使用するときは、障害物などに注意しながらロボット掃除機の走行状況を確認してください。

B1 充電ドックの設置

平らな床に壁を背にして充電ドックを置き、コンセントに差し込みます。充電ドックはWiFi ルーターの近くなど電波の届きやすいエリアに設置してください。

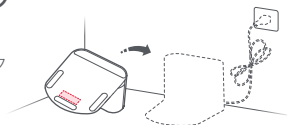


注意：

- 充電ドックの両側に0.5m以上、前に1.5m以上の隙間を開けてください。
- 電源ケーブルが床に垂れ下がっていると、掃除時に引っ掛かって、緩んだり抜けたりすることがあります。
- 充電ランプは、充電ドックをコンセントにつなぐと点灯し、本体の充電中は消灯します。
- 充電ドックを直射日光が当たる場所に置いたり、赤外線送信部を遮ったりしないでください。本体が自動的に充電ドックに戻れない原因となります。

B2 充電ドックを粘着テープで固定する

床面を乾いた布で拭き、充電ドック底面にある粘着テープで固定してください。

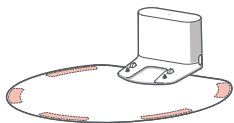


注意：粘着テープが不要な場合は、接着剤が残らないように粘着テープをゆっくりとはがしてください。

B3 防湿マットの設置

床面を乾いた布で拭き、防湿マットの滑り止めテープをはがして設置し、固定してください。

注意：フローリングに充電ドックを設置する際は、必ず防湿マットをお使いください。

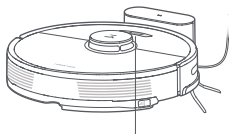


B4 本体の電源を入れ、充電を行う

⏻ ボタンを長押しすると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯したら、本体を充電ドックに置き、充電を開始します。バッテリーの性能を維持するため、本体は常に充電したままにしてください。

注意：

- バッテリーの残量が少なくなると、本体の電源が入らないことがあります。
- 本体を充電ドックに接続して充電してください。



電源ランプの色がバッテリー残量を示します。

- 白：バッテリー残量20%以上
- 赤：バッテリー残量20%未満

B5 アプリへの接続

本製品は、RoborockアプリとMi Homeアプリの両方に対応しています。どちらかのアプリをご使用ください。Roborockアプリの使用を推奨します。

① アプリをダウンロードする

Roborockアプリ: App StoreまたはGoogle Playで「Roborock」と検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。



Mi Homeアプリ: App StoreまたはGoogle Playで「Mi Home」と検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。



② WiFiをリセットする

1. 上部のカバーを開き、WiFiランプを確認します。
2. ⏻ ボタンおよび⏻ ボタンを、「WiFiをリセットします」という音声案内が流れるまで長押しします。WiFiランプがゆっくりと点滅したら、リセットは完了です。

注意：WiFiルーター関連の変更、パスワードを忘れた場合、スマートフォンが接続できなかったときは、WiFiをリセットしてからもう一度ロボット掃除機を追加してください。

• 詳しくはクイックスタートガイドをご覧ください。

③ デバイスを追加する

アプリを開き、「デバイスを探す」をタップし、表示される案内に従ってデバイスの追加を進めてください。詳しくは、クイックスタートガイドをご覧ください。

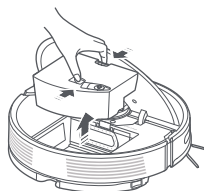
注意：

- アップデートにより、アプリの画面や仕様が変更される場合があります。必ずアプリの案内に従って操作をしてください。
- この製品は、5GHzのWiFiのネットワークには対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークをご利用ください。

B6 モップの取り付け

1. 上部カバーを開き、ダストボックス・水タンク両用ユニットを取り外します。

注意：モップにはほこりが過度に蓄積されることがあります。本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。



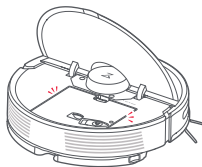
2. 水タンクカバーを開けて水を入れ、水タンクカバーをしっかりと閉じます。

注意：

- 洗浄液や殺菌剤は入れないでください。ユニットが破損する恐れがあります。
- お湯は入れないでください。水タンクが変形する恐れがあります。
- 水タンクに水を入れるときは約30°傾けながら入れてください。フィルターの水満れを防ぎます。

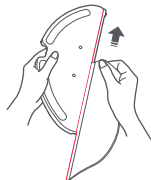


3. ダストボックス・水タンク両用ユニットを元の位置に取り付けます。取付完了されたらカチッとする音がします。

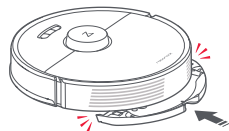


4. モップクロスを湿らせ、余分な水分を絞っておきます。モップクロス取り付け溝に沿ってスライドさせて取り付けます。

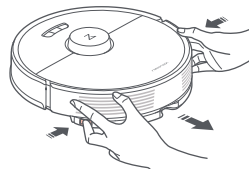
注意：同梱及び指定のモップクロスを使用してください。



5. モップクロスを取り付けたモップクロスマウントを、カチッと音がするまで本体の下にスライドさせながら押し込みます。



6. 掃除後、モップクロスマウントを、両側のラッチを押しながら、後方にスライドして外します。



注意：

- ご使用のたびに、モップクロスを洗浄し、水タンク内の水は定期的に空にします。
- モップ掛けしないときは、モップクロスマウントを取り外します。

㉔ 操作方法

オン/オフ

⏻ ボタンを押し続けると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯し、本体はスタンバイモードに切り替わります。⏻ ボタンを押し続けると、電源が切れ、進行中の掃除が終了します。

注意：充電中は、本体の電源を切ることはできません。

掃除の開始

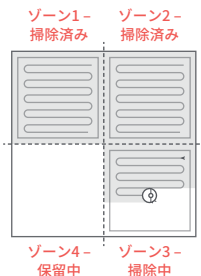
⏻ ボタンを押して、掃除を開始します。本体は掃除をしながら部屋をスキャンしてマップを生成し、そのマップに基づいて適切な掃除経路の計画を立てます。まず壁に沿って外周を掃除し、次に折り返し回数が最小になるようにZ字ルートで掃除します。

注意：

- バッテリー残量が極端に低下している場合は掃除を開始できません。充電してから掃除を再開してください。
- 掃除の前に床からケーブルなど（充電ドックの電源ケーブルを含む）引っかかりやすいものを片付けてください。
- 10分以内に掃除が完了した場合、そのエリアは2回掃除されます。
- 掃除が完了する前にバッテリーがなくなった場合、本体は自動的に充電ドックに戻って充電を開始します。充電が完了すると、中断したところから掃除を再開します。
- 水拭き掃除を開始するときは、必ずモップクロスマウントが正しく取り付けられていることを確認してください。

スポット掃除

本体がスタンバイまたは一時停止の状態、⏻ ボタンを押すとスポット掃除を開始します。このモードでは、本体を中心とした1.5m四方のエリアを掃除します。掃除後は、開始地点に戻りスタンバイモードになります。



注意：一時停止の状態ですべての掃除を開始すると、進行中の掃除が終了します。

一時停止

本体の稼働中にいずれかのボタンを押すと停止します。⏻ ボタンを押すと掃除を続行し、⏻ ボタンを押すと充電ドックに戻り進行中の掃除が終了します。

注意：一時停止している本体を手動で充電ドックに接続すると、進行中の掃除が終了します。

スリープ

本体は10分以上動作しないと、スリープモードに入り、電源ランプがゆっくりと点滅します。いずれかのボタンを押すと、スリープモードは解除します。

注意：

- 充電中はスリープモードにはなりません。
- 12時間以上スリープモードのままになっている場合、本体の電源は自動的にオフになります。

おやすみモード

アプリからおやすみモードを設定すると、設定した時間内は自動充電後の掃除の再開や音声案内は行われず、電源ランプは消灯します。このモードは初期設定で22:00~8:00の間有効になります。無効にすることも、設定時間を変更することもできます。

チャイルドロック

⏻ ボタンを3秒長押しする、またはアプリからチャイルドロックのオン/オフができます。チャイルドロックがオンになっていると、本体が停止しているときに、すべてのボタンがロックされます。

充電

自動：掃除後、本体は充電のため自動的に充電ドックに戻ります。

手動：一時停止している状態で、**⏪** ボタンを押すと、本体は充電ドックに戻ります。

本体が充電されると、電源ランプはゆっくり点滅します。

注意：充電ドックを見つけれない場合、本体は掃除を開始した地点に戻ります。
本体を手動で充電ドックに接続し充電してください。

エラー

エラーが発生した場合、電源ランプが赤色に素早く点滅するので、音声案内に従って操作をしてください。

注意：

- エラーのまま未操作の状態が10分間続くと、本体は自動的にスリープモードに切り替わります。
- エラー状態のときに、本体が充電ドックに接続されると、進行中の掃除は終了します。

システムリセット

ボタンが反応しない、または本体の電源が切れない場合は、つまようじなどを用いて本体リセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に本体が再起動します。

注意：リセットすることにより、タイマー、WiFi 及びその他関連設定もリセットされます。

工場出荷時の状態に戻す

システムリセットをしても改善しない場合は、「初期バージョンの復元を開始」という音声案内が聞こえるまで、**⏪** ボタンとリセットボタンを同時に押し続けてください。

アプリの機能

- 現在位置の確認
- 掃除経路・面積・時間の表示
- 複数フロアマップの保存
- リアルタイムのマップやルート表示
- 部屋やエリアの分割・統合

カスタム掃除モード

- 掃除予約の設定
- 部屋の掃除順番の設定
- 進入禁止エリア、水拭き禁止エリア、バーチャルウォールの設定
- カーペットモードの設定

掃除モードの変更

- 吸引力の設定
- 水量の設定

本体の状態

- 掃除履歴の表示
- バッテリー残量の表示
- 消耗品交換目安の表示

その他

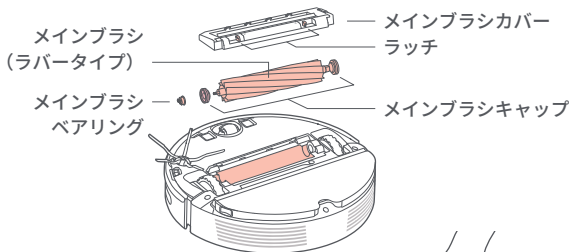
- ファームウェアの更新
- 音量調整
- アプリ上の言語変更
- おやすみモード
- スマートスピーカー対応

注意：アップデートにより、機能やアプリの仕様が変わる場合があります。

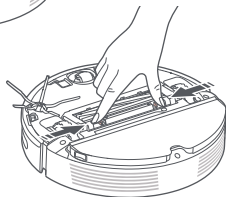
D お手入れ

D1 メインブラシ（ラバータイプ）

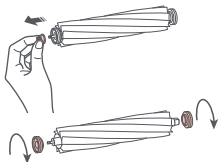
＊2週間に1度掃除し、6～12か月ごとに交換することをお勧めします。



1. 本体を裏返してラッチを押し、メインブラシカバーを取り外します。



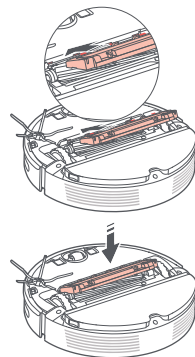
2. メインブラシを持ち上げて取り外し、ベアリングを引き抜きます。メインブラシキャップをロック解除方向に回し、キャップを取り外します。



3. メインブラシとベアリングに絡まっているものを取り除き、再度ベアリングをメインブラシに取り付けます。メインブラシを取り付け、メインブラシカバーProを押し込んで取り付けます。

注意：

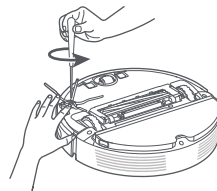
- ＊濡れた布を使用してメインブラシを拭いてください。直射日光に当てずに完全に乾かします。
- ＊メインブラシを洗浄するために、洗剤や除菌洗剤は使用しないでください。



D2 サイドブラシ

＊月に1度掃除し、3～6か月ごとに交換することをお勧めします。

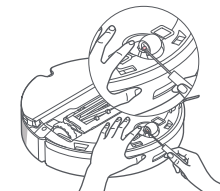
1. 本体を裏返し、サイドブラシのネジを外します。
2. サイドブラシを取り外して掃除します。
3. サイドブラシを元どおりに取り付け、ネジを締めます。



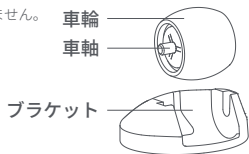
D3 前輪

＊必要に応じて掃除してください。

1. 本体を裏返します。
2. ドライバーなどを使用して、車輪を持ち上げて取り外します。



注意：ブラケットは取り外すことができません。



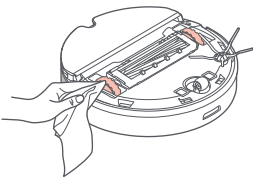
3. 車軸と車輪を水ですすいで、髪の毛や汚れを取り除きます。車軸と車輪を乾かし、ブラケットに押し込んで元通りに取り付けます。



D4 後輪

*月に1回掃除してください。

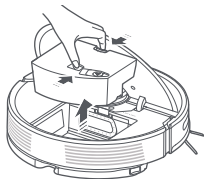
1. 本体を裏返します。
2. 後輪を柔らかい乾いた布を使用して拭いてください。



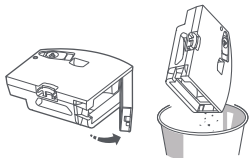
D5 ダストボックス・水タンク両用ユニット

*週に1回掃除してください。

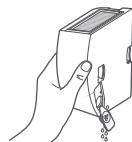
1. 上部カバーを開き、ユニット上のラッチを押しながら取り外します。



2. 矢印の方向にエアフィルターCを取り外し、ゴミを捨てます。



3. 中に入っているゴミは定期的
に捨ててください。



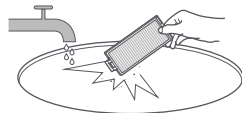
4. 水道水でダストボックスを満たし、軽く振って洗浄し、汚れた水を捨てます。

注意：洗剤などを使わずに水道水で洗ってください。



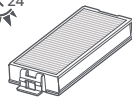
5. 取り外した、エアフィルターCを繰り返し水ですすいで、フレームを軽く叩いて汚れを落とします。

注意：エアフィルターCが損傷する恐れがある為、ブラシなどで強くこすったり、手で引っかいたりしないでください。



6. エアフィルターCを24時間以上を目安に、完全に乾かしてから取り付けてください。

注意：必要に応じて新しいフィルターに交換してください。

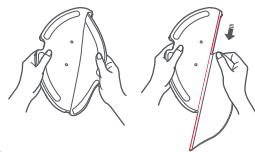


D6 モップクロス

*3～6か月ごとにモップクロスを交換することをお勧めします。

モップクロスをモップクロスマウントから外します。モップクロスを洗浄し、乾かします。

注意：モップクロスがひどく汚れていると、水拭きの効果に影響することがあります。使用の度に洗ってください。

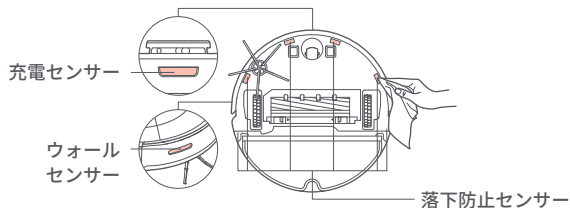


D7 本体のセンサー

•月に1回掃除してください。

柔らかい乾いた布を使用して、以下のセンサーを拭き掃除します。

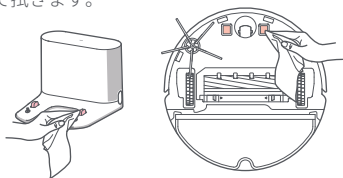
- 底面の4つの落下防止センサー
- 側面のウォールセンサー
- 前面の充電センサー
- 底面の充電端子



D8 充電端子

•月に1回掃除してください。

充電ドックとロボット掃除機本体にある充電端子を柔らかい乾いた布を使用して拭きます。



バッテリー

本体には、リチウムバッテリーを搭載しています。

バッテリーの性能を維持するため、本体は常に充電したままにしてください。

注意：本体を長期間使用しない場合は電源を切り、少なくとも3か月に一度充電して、過放電によるバッテリー能力の低下をさせないようにしてください。

バッテリーの取り外し

本製品を廃棄する際は、バッテリーを取り出してください。

取り出したバッテリーは、貴重な資源を守るために、充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体を通じてリサイクルいただけますようお願いいたします。

または、サポートセンターまでお問い合わせください。

バッテリーの取り出し方

•バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. ロボット掃除機の電源を切ります。

注意：

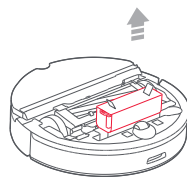
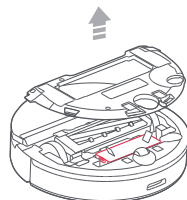
- バッテリーを取り出す前に、電池が完全に消耗していることを確認してください。
- 本体が充電ドックに接続されている場合は、バッテリーを取り出さないでください。

2. バッテリーカバーのネジを外し、カバーを取り外します。

3. バックルを押してバッテリーのコネクタプラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。

注意：

- バッテリーパック全体を取り出してください。
- 電池のショートや液漏れを防ぐために、バッテリーパックを傷つけないでください。
- 電池が液漏れして目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。



基本仕様

本体

製品モデル	Q380RR
サイズ	幅：353×奥行：350×高さ：96.5mm
型番	Q7M52-04(黒)/Q7M02-04(白)
バッテリー	14.4V/5200mAhリチウムバッテリー
重量	約3.7kg
定格入力	20VDC 1.2A
充電時間	約6時間

注意：シリアルNo.は、ダストボックス・水タンク両用ユニットを取り外した底面に記載されています。

充電ドック

製品モデル	CDZ11RRまたはCDZ12RR
サイズ	幅：130×奥行：151×高さ：98mm
定格電力	28W
定格入力	100-240VAC
定格出力	20VDC 1.2A
定格周波数	50-60Hz
充電バッテリー	14.4V/5200mAhリチウムバッテリー

WiFi

プロトコル	802.11b/g/n
周波数帯	2.4 GHz

よくあるご質問

問題	解決策
電源が入らない	バッテリー残量が低下しています。ご使用前に充電ドックに本体を戻して充電してください。バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。本体は4℃～40℃の範囲で使用してください。
充電できない	充電ドックが通電していない可能性があります。電源ケーブルが正しく差し込まれているか、充電ランプが点灯しているかを確認してください。充電ドック及び本体の充電端子をきれいにしてください。
充電速度が遅い	本体を高温または低温環境で使用すると、バッテリー寿命を延ばすために本体の充電速度が自動的に低下します。充電端子が汚れている可能性があります。汚れている部分を乾いた布で拭いてください。
充電ドックに戻らない	充電ドックの近くに障害物がある可能性があります。障害物を取り除いてください。本体が充電ドックから離れすぎています。本体を充電ドックの近くに置いてください。
動作が異常	本体の電源を切ってから再度電源を入れ直してください。
掃除中のノイズ	メインブラシ、サイドブラシ、前輪または後輪に異物が絡まっていると、ノイズが発生することがあります。電源を切って掃除してください。前輪に異物が詰まっていないか確認してください。
WiFiに接続できない	WiFiが無効の可能性があります。WiFiをリセットして、再度試してください。WiFiの電波が弱い可能性があります。WiFi電波が届きやすい場所において再度確認してください。WiFi接続が異常な可能性があります。WiFiをリセットして、最新のアプリをダウンロードして接続を再試行してください。本製品は5GHzのWiFiネットワークに対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークに接続してください。

吸引力が低下したまたは吸い込んだ埃が落ちる	ダストボックスがいっぱいの可能性があります。ゴミを捨ててください。エアフィルターが詰まっている可能性があります。フィルターを掃除してください。メインブラシに異物が絡まっている可能性があります。絡まっているものを取り除いてください。
予約掃除が動作しない	バッテリー残量が低下しています。予約掃除はバッテリー残量が20%を超えている場合のみ有効です。
本体を充電ドックに接続した状態でも、バッテリーは消耗しますか？	本体が充電ドックに接続されている状態でも、バッテリーはごく少量ですが使用されます。充電し続けることにより、最適なバッテリー性能が維持されます。
初めて使用するときは本体をフル充電する必要がありますか？	フル充電してから使用してください。
水拭き中に水がほとんどまたは全く出ない	水タンクに水があるかどうか確認または本取扱説明書を確認し、モップクロス及びモップクロスマウントを正しく取り付けられているか確認してください。アプリで水量を調整してください。
充電後に掃除が再開されない	おやすみモードになっていないか確認してください。おやすみモードに設定した時間内は自動充電後の掃除の再開は行われません。手動で本体を充電ドックに接続した場合、掃除は再開されません。
スポット掃除または本体を手で移動させた後、充電ドックに戻るができない	スポット掃除後、または大幅な位置変更の後、本体はマップを再生成します。充電ドックが速くにある場合、本体は手動の為に自動的に戻れないことがあります。本体を手動で充電ドックの近くに置いてください。
掃除しない箇所があった	ウォールセンサーまたは落下防止センサーが汚れている可能性があります。乾いた布で拭いてください。
バッテリーエラーと警告が出る	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。使用前にバッテリーの温度が正常に戻るまでお待ちください。

保証情報

●お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。
お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

Roborock カスタマーサポートセンター

TEL: 0120-992-878

Eメール: support@roborock.jp

(営業時間: 10:00~17:00※土日祝除く)

〈製品の送付先〉

〒168-0805

住所: 東京都新宿区矢来町113-1 神楽坂升本ビル 101号室

VANLINKS株式会社カスタマーサポートセンター

●修理・交換

製品の修理・交換を希望される際は、あらかじめ上記カスタマーサポートセンターにご連絡の上、保証書を製品に添えてお送りください。

- ご購入後1年の保証期間中に、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常に使用した結果、発生した製品の不良につきましては、無償にて、修理・交換をいたします。
- 修理中の代替機のお貸し出しはしていません。

※詳細は、保証規定内容をご確認ください。

保証書

製品モデル： Q380RR

シリアルNo.： _____

本体シリアル No. をご記入ください。（Rから始まる14桁の番号）
シリアルNo.は、本体のダストボックス・水タンク両用ユニットを取り外した
底面に記載されています。

ご 氏 名： _____

保 証 期 間： ご購入年月日より1年間

ご購入日をご記入いただいていない場合、レシートなどの購入履歴でご購入日
を算出し、保証期間を設定します。

法 人 名： _____

ご 住 所： _____

TEL： _____

販 売 店 名： _____

ご 購 入 日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

この度は roborock Q7 Max をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定内容に基づき無償交換・修理を行うことをお約束するものです。詳細は保証規定をご確認ください。交換・修理の際は、必ず保証書をご提示ください。保証書は再発行しませんので大切に保管してください。また、交換・修理対応は日本国内に限ります。

保証規定

1. (保証規定の内容)

この保証規定は、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常な使用、またそれらに記載された条件下での使用のもとで本保証書記載の保証期間中に故障が発生した場合、本規定に基づきRoborockカスタマーサポートセンターが無償交換・修理を行うことをお約束するものです。また、本規定は本保証書が添付されている roborock Q7 Max に対してお客様が期待される性能や成果、運用上の結果を保証するものではありません。

2. (保証書の効力)

この保証書は、本書に記載された保証規定の条件および期間に基づいて、本保証書が添付された roborock Q7 Max の無償交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

3. (保証の対象)

この保証規定による無償交換・修理の対象となるのは roborock Q7 Max の本体に限ります。

4. (お客様の負担)

この保証規定による無償交換・修理を受けられる場合は、あらかじめRoborockカスタマーサポートセンターにご連絡の上、保証書を製品に添えてRoborockカスタマーサポートセンターへ着払いにてお送りください。保証対象期間を過ぎての有償修理または、お客様の誤った使用に起因する故障の修理を受けられる場合は、送料などの諸費用はお客様ご自身のご負担になりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

5. (保証期間)

製品ご購入日より起算した保証書記載の期間とします。ご購入日の記入がない場合は、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、その日を基準に保証期間を設定いたします。

6. (個人情報の取り扱い)

お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の保証サービス対応およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合があります。また、修理のために、弊社から修理委託している保守会社等に必要情報を預託する場合がありますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

7. (保証を受けられない場合)

保証期間内であっても以下に該当する場合は有償修理とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) 本保証書のご提示がない場合。
- 2) 本保証書規定の字句及び本保証書の他の字句が書き換えられている場合。
- 3) 台風、水害、地震、落雷などの自然災害及びその二次災害、火災、公害や異常電圧による、破損や故障、紛失があった場合。
- 4) 取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法または注意事項に反するお取り扱いがあった場合。
- 5) Beijing Roborock Technology Co., Ltd.以外の第三者またはお客様ご自身による改造、またはご使用の責任に帰すると認められる破損や故障があった場合。
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時、持ち運び時の落下や衝撃、悪条件下での放置など、お取り扱いが不適切なため生じた故障や破損、紛失があった場合。
- 7) ケーブルなど本体以外の付属品の故障や破損、消耗品の補充や仕様によって消耗、摩耗する部品の交換を行う場合。
- 8) 転売、中古販売、譲渡、オークション等で製品を入手された場合。
- 9) 商品を日本国外において使用した場合。
- 10) その他、Roborockカスタマーサポートセンターの判断に基づき有償と判断した場合。

8. (VANLINKS株式会社の免責)

本保証書が添付された roborock Q7 Max の故障によって、またはご使用の結果生じた直接、間接の損害については、VANLINKS株式会社（輸入代理）はその責を一切負わないものとします。

Q7 Max ロボット掃除機 取扱説明書

製品モデル：Q380RR

製造元：Beijing Roborock Technology Co., Ltd.

製造元の住所：Floor 6, Suite 6016, 6017, 6018, Building C, Kangjian Baosheng Plaza,
No.8 Heiquan Road, Haidian District, Beijing, P.R. China

製品の詳細については、弊社の Web サイト：www.roborock.jp をご覧ください。

販売後のサポートについては、Roborock カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

